

【経営課題3: 投票率の向上】

○経営課題の対応状況

内容	経営課題への対応状況に対する認識
とくに若年層を対象とした選挙啓発活動の充実	大学における出前講義を継続し、さらに小中学生を対象にミニ啓発講座等のヘッドスタートプログラムも充実させていき、若年層投票率の向上に寄与する。

[戦略3-1: 若年層対策]

○戦略と具体的取組の一体的評価

戦略と具体的取組の一体的評価と課題	(※1) 対応方向
検討会の中で議論が行われ、新たなヘッドスタートプログラムの素案ができた。また大学の出前講義においては年度内に3校で実施でき若年層の投票率の向上に向け進んでいる。	常時から大学における出前講義を継続し、さらに新たなヘッドスタートプログラムを開始し若年層の投票率を向上させる。

○戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況

戦 略	戦略の成果・目標達成状況	評価結果(※2)
若年層の投票率の向上を図るため、ヘッドスタートプログラムなど大学等の協力を得て事業を実施する。	本市平均投票率と20代・30代の投票率の差が2.44ポイント縮まった。 	B
達成目標(アウトカム) 本市平均投票率と20代・30代の投票率の差を1%縮める。		

○具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況

番号	取組内容	業績目標(アウトプット)	取組実績・目標達成状況	評価結果(※3)	課題及び改善策
①	啓発の企画・立案や実施にあたり、大学生や区の意見を聞き、低予算で効果的な啓発のあり方を検討 【22 3-1-①】	区をまじえた検討会を立ち上げ意見集約するとともに、大学での出前講義でのアンケート調査の実施	区の選挙係長で組織した検討会の中で低予算で効果的な啓発事業の検討を行った。 6月に2校9月に1校、大学における選挙出前講義を実施し、学生からレポートの提出を受けた。	②	大学における出前講義を継続し、小中学校においても啓発講座を実施する。

(※1) ◆戦略と具体的取組の一体的評価(たうえでの今後の対応方向)
 ア:業績目標を達成し、見込んだ成果も得られており、今後より一層効果的・効率的に取組を実施していくことが必要
 イ:業績目標が未達成の取組があり、見込んだ成果も得られていないため、取組の改善・見直しが必要
 ウ:業績目標を達成しているのに、成果も得られていないため、実効性のある取組への見直し・再構築が必要
 エ:業績目標が未達成であるのに成果も得られており、達成目標のあり方や取組の有効性・必要性の検討が必要
 オ:環境変化等により、戦略・取組の根本的な見直しが必要

(※2) ◆戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況
 A:期待を上回る成果が得られている
 B:概ね期待どおりの成果が得られている
 C:期待する成果は得られていない
 D:環境変化等の影響を受け、転換を遂行する必要性が得られている

(※3) ◆具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況
 ◎:目標を大きく上回る達成
 ○:目標を概ね達成
 ⊕:目標が達成できなかった
 (1) 取組は予定どおり実施したが、結果として目標を達成できなかった
 (2) 取組は予定どおり実施したが、結果として目標を達成できなかった
 (3) 取組が生じなかった取組を実施できなかった、または進捗が遅れている
 (4) 環境変化等の影響を受け、取組の優先度が下がった、取組を遂行する必要性が得られた